

令和5年度学校経営定時制反省（令和6年3月19日：校長）

	取組	評価の観点	評価	(案)
<p>生徒の卒業の編成・支援を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「学び直し」から始まる教育課程の編成・実施 ・基礎学力の定着を図る科目の設定と学習指導の充実 ・履修と修得の文理など弾力的な教育課程の編成 ●キャリア教育の視点からの体験的な教育活動の充実 ・通信制生徒や異年齢集団との交流 ・コミュニケーション能力を高める教育活動 ・主体的・積極的な生徒会活動・学校行事 	<ol style="list-style-type: none"> ①進級・卒業に向け柔軟に学習指導を行ったか ②学び直しによる基礎学力の定着が図られたか ③中途退学者、原級留置者が減少したか ④問題行動等が減少したか 	<ol style="list-style-type: none"> ①②課題の提出や登校状況などに配慮して、基礎学力の定着はもとより、卒業に向けた学習指導を行っていた。また、行事シラバスや総合的な探究の時間など生徒が学んだことを実感できる取組となっている。 ③④問題行動は0件であり、教職員の指導の成果と考える。様々な事情や課題を抱える生徒がいるため、減少させることを目標にするのではなく、これらの課題等を解決できるようにすることが必要である。 ◎履修と修得の分離など教務内規の見直しが必要である。 ◎生徒が主体的に取り組む生徒会活動への見直しが必要である。 	<p>確かな学びを実現する教育課程の編成・実施</p>
<p>学校改善の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●遠軽高校定時制のスクール・ポリシーの周知 ・遠定で身に付けさせる能力の定着 ・学校改善に向けた活発な議論の推進 ●地域との連携など、進学・就職指導の充実 ●自己指導能力（メタ認知）の育成を目指す生徒指導の充実 ●高等学校教育における特別支援教育の充実 	<ol style="list-style-type: none"> ①「遠定ミッション・ポリシー」を普及できたか ②学校改善の意識が高まり、広い視野で取り組めたか ③進路希望未定者が減少したか 	<ol style="list-style-type: none"> ①学校説明等において、スクールポリシーだけでなく、三修制や教育活動等について普及してきたが、引き続き、取組を進める必要がある。 ②授業改善の研修など学校改善の意識が高まったが、より一層課題を共有して取組を進める必要がある。 ③この評価の観点は適切ではなかった。地域との連携により令和5年度の全卒業生の進路を決めることができた。 	<p>前向き思考を育成する実践</p>
<p>た 社 会 校 に づ 開 ぐ かり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●HPや学校だより、学校説明会など、積極的な情報発信 ●地域の教育資源の活用 ●学校評価の焦点化 ●課程維持のための生徒募集に向けた取組の充実 	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒、保護者、地域に分かりやすく情報提供したか ②出願者数が増加したか ③PDCAサイクルに基づく学校改善が図られたか 	<ol style="list-style-type: none"> ①夕映えやホームページなど、分かりやすい情報提供に努めることができた。 ②令和5年度より出願者は増加したが、10名以下であることから、引き続き生徒確保に努める必要がある。 ③学校関係者評価等を踏まえて、学校改善に努める必要がある。 	<p>教育課程に開かれた実践</p>
<p>【各分掌へ】</p> <p>○教務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の現状を踏まえて、履修と修得の分離など校内規程の見直し ・引き続き、授業改善に向けた研修の実施 <p>○進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組をベースに多様な生徒に対応できるキャリア教育の在り方の検討 ・インターンシップ受入企業等の開拓 		<p>○生徒指導部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日と連携した教育相談システムの研究 ・生徒が主体的に取り組む生徒会活動の在り方の検討 <p>○事務部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改造二期目のスケジュール調整 <p>○各教科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、授業改善に向けた研修・研究 ・探究的な活動及びデジタル機器の活用 	<p>【全教職員へ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○服務規律の徹底（ハラスメント、不適切な指導、不適切な言動等） ○健康管理（時間外勤務縮減、休暇が取りやすい職場環境） ○コミュニケーション（報告・連絡・相談、話しやすい環境等） ○研修（全体研修、個別研修等） 	

